

令和2年度和歌山県文化奨励賞

辻本 好美

住 所 和歌山県橋本市

出身地 和歌山県橋本市

生 年 昭和62年

◎ 業績及び経歴

昭和62年に生を享け、橋本市にて育つ。尺八奏者の父、公平氏の影響で、高校時代より尺八を始める。平成17年橋本高等学校在学中に橋本市の国際親善大使としてアメリカ・ロナパーク市で演奏する。その後、尺八の道を極めるべく東京藝術大学音楽学部邦楽科に進み、平成22年卒業。

平成25年日本大使館主催チリ・アルゼンチン南米ツアー公演、平成26年中米(エルサルバドル・キューバ・パナマ)ツアー公演、スペイン国交400周年事業(マドリード日本大使館)での演奏など、国際的な舞台での演奏を次々と成功させる。平成28年には、史上初の女性尺八奏者のソロプロジェクト“Bamboo Flute Orchestra”として、和楽器×洋楽アルバム「SHAKUHACHI」でメジャーデビュー。ワールドチャート1位を獲得する。

国内においても、平成22年チリ地震チャリティーコンサート「想いを込めて」、平成23年緊急支援東日本大震災チャリティーコンサート「今 私たちにできること!」を開催。平成24年にはFIFAU-20女子ワールドカップJAPAN2012、令和元年には天皇皇后両陛下が出席された第3回野口英世アフリカ賞授賞式及び記念晩餐会で演奏を行うなど、様々な舞台で活躍を重ねている。

また、ふるさと和歌山への想いも強く、きのくに音楽祭や橋本高等学校邦楽部全国大会出場コンサートに出演するなど、現在も和歌山県内での演奏活動を積極的に行っている。

日本の伝統楽器の素晴らしさを世界中の幅広い世代の人にもっと知ってもらいたいという想いのもと、令和2年10月末現在で世界24ヶ国・33都市で53公演を成功させるなど、尺八奏者として国内外で精力的に活動を行っており、著名な洋楽を尺八でカバーするスタイルは海外からも高い注目を浴びている。尺八の奥深い魅力と可能性を日本から世界へ発信するその活躍は、今後もより一層の期待ができる。

■ 現 在

・尺八奏者

◆ 主な表彰歴等

平成26年 橋本市文化奨励賞